

初の精米 JAS 認証事業者が誕生しました

～ 確かな品質の指標として、消費社会に浸透することを期待 ～

6月6日、認証の可否を審査する判定委員会を開催し、7事業者の精米工場を精米 JAS 認証し、初の精米 JAS 認証事業者が誕生しました。精米の世界が新たな時代に入ったように思います。

これまで業界基準でしかなかった精米の品質基準に国家規格による品質基準ができ、いま、精米 JAS 認証事業者が誕生したことで、今後、精米の品質への関心が高まっていくものと思います。

この基準は、すべての精米（製品）に共通するもので、JAS マークが付いた製品は一定の品質が担保されることから、今後、消費者が購入する際の基本的な選択基準になってくるものと思います。

そう考えると、産地品種による選択に加え、これまで、ともすると敬遠されがちであったブレンド米も購入の選択肢に入ってくるのが想定されます。

精米事業者にとって、精米 JAS の活用は、新たな商品政策にもつながり、国内だけでなく、海外との取引にも役割を果たすことになるでしょう。

今後、多くの精米事業者が精米 JAS 認証事業者となることで、精米 JAS が確かな品質の指標として認識され、広く消費社会に浸透することを期待します。

2024年6月

一般社団法人日本精米検査認証協会

会長 飯野輝明